

M O N T H L Y **vol.18** U P

表面加工材の可能性。





身のまわりにある食品のパッケージや
カタログなどに目を向けてみて下さい。
表面加工された印刷物が見つかると思います。
その光沢は印刷物の存在感を示すことはもとより、
新しいエネルギーとしての輝きでもあるのです。

表面加工という言葉で、何を思い浮かべられますか？

ここで言う表面加工とは、ラミネートなど、印刷面をコーティングする加工方法のこと。

今回は、表面加工材の可能性についてご紹介していきたいと思います。



雑誌やカタログの表紙、商品パッケージなどの印刷面を保護したり、付加価値をつけるために行う表面加工。その方法にもいくつか種類があり、主なものとして光沢コート、プレスコート、ラミネート等に分類されます。

●

まず光沢コートとは、ニス引きとも呼ばれる表面加工。オフセット印刷機にニスコーターを取り付けて、印刷と同一の流れでニスを塗布するインライン方式と、オフラインでニス引き機を使って処理するものがあります。次に、プレスコート。印刷物の表面に鏡面光沢をつける加工のことを言い、光沢コートの処理後、加熱したステンレス鏡面板に圧着して仕上げます。光沢・耐磨効果があり、しかもそのまま再生古紙として使えるなど、メリットは大きいと言えます。最後にラミネート加工。別名、PP貼りとも呼ばれ、PP(ポリプロピレン)やPET(ポリエステル)フィルムに接着剤を塗布し、印刷物の表面に圧着加工するものです。

現在、特に問題になっているのがラミネート加工です。この表面加工方法には難点があつたつあります。ひとつめは、リサイクルしにくいこと。PPと紙を貼り合わせたものなので、分離してそれぞれを再利用することは可能ですが、分離工程には多額の費用がかかるため、積極的には行なわれていません。ふたつめに、比較的低温で燃焼した場合、ダイオキシンが発生する点です。

東京都など一部の自治体で使用されている、高い発熱

量に対応できない旧式の焼却炉では、全体の温度を下げた燃焼せざるをえず、そのため低温で燃焼するとダイオキシンが発生するラミネートは、「燃えないゴミ」として分別回収し、埋立て処理をするしかありません。これらの問題を解決する手法として、サーマルリサイクル(熱エネルギー回収)という方法が注目を集めています。プラスチックなどの混入した廃棄物は、燃える際に高温を出し、熱エネルギーを発生します。この特性を生かし廃棄物をモノとして再利用するのではなく、エネルギーとして取り出すことで、発電や石油の代用として利用しようという考え方です。

高温で焼却することで、ダイオキシンなどの有害物質も発生が微量になり、さらに二次処理でほとんど除去できるようになります。このため高温に対応できるよう焼却炉も改善されつつあります。また、PPは炭素と水素からできているため、完全燃焼したあとは二酸化炭素と水になります。二酸化炭素は地球温暖化の主要因となっていますが、輸入される石油の80%を燃料として使っている現状では、石油に比べて二酸化炭素の大幅な削減が見込まれています。ゴミの排出量そのものは抑制できませんが、特性を良く理解して行なえば、大きな効果が期待できます。

●

ラミネート加工がこれからも必要とされるのであれば、私たちは「燃料のための分別」という行動をとることが重要になってきます。



<http://www.sezax.co.jp>

<input type="checkbox"/> 本社・工場	〒146-0091 大田区鶴の木2-9-7	TEL 03 (3758) 2511(代)	FAX 03 (3758) 2754	
		営業専用	FAX 03 (3758) 2544	
<input type="checkbox"/> 渋谷コア	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル6F	TEL 03 (3400) 9211(代)	FAX 03 (3409) 7315	
		5F	TEL 03 (3400) 9401(代)	FAX 03 (5468) 9253
<input type="checkbox"/> マニュアル企画部	〒146-0091 大田区鶴の木2-9-7	TEL 03 (3758) 2591(代)	FAX 03 (5482) 2777	
<input type="checkbox"/> 下丸子工場	〒146-0092 大田区下丸子2-20-4	TEL 03 (3758) 2516(代)	FAX 03 (3758) 8850	

株式会社セザックスクリエイティヴ

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03 (3409) 4970(代) FAX 03 (3409) 2732

株式会社セザックスインターナショナル

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03 (3409) 0527(代) FAX 03 (3409) 6610



この小冊子には環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

この小冊子は再生紙を使用しています。